

には彼自身の研究目標について述べている。やはり注目されるのは後半の部分で、 $z$  項にあらわれているようなカタログ誤差を修正し、章動観測値などを再検討する話、および章動に重要な影響をおよぼす地球潮汐の研究の話があり、これらは対象のおもしろさのみならず位置天文学の方法論からも示唆に富んでいると思う。

ジュフリーズの講演は「地球および惑星の内部におけるグリーブ(序々に進行する変形のこと)」という題で、要旨は、月の非平衡形状と地震のS波の伝搬から求めるとグリーブは時間の0.2乗に比例して進行し、これは月の自由振動や地球の地震波の減衰などもよく説明できる、ということで、最後に、 $t^{0.2}$  を用いるとマントル対流と大陸移動は不可能であると結論しているところがおもしろい。

一般の講演としては、公表極位置の改訂や新しい決定、極運動や自転変動の周期解析、観測法による極運動の相違、新観測技術利用の構想や既に成果のある衛星ドップラー・レーザー観測の報告、大気屈折の影響、古代

天文記録から求めた自転変動、コア・マントル相互作用と自転変動および $z$ 項、地震による極運動の励起、太陽風や海洋潮汐の影響等々、広い興味をそそるものが多いが、前記2つの講演を除いてはどれも3頁前後の短い記事となっており、くわしいことは別の論文で調べなければならぬ。また、研究会ではこれらの講演以外にも、都合で論文配布のみとなった研究も多くあり、これらは“Extra Collection of Papers Contributed to the IAU Symposium No. 48”として水沢緯度観測所より既に発行されている。

巻末の合意事項を列挙すれば、(1)新しい宇宙技術の積極的利用と情報交換、(2)データの連続性のために旧観測装置を継続使用すること、および新技術の長期利用計画の立案、(3)レーザー衛星の打上げ、(4)地球潮汐観測所の設立(特に南半球)、(5)ILS観測所へのPZTの導入、等の勧告である。まだまだこれから何が出て来るかわからないという気がする。

(中嶋浩一)

## 学会だより

**会費滞納の督促** 会費を滞納している会員に、請求書を送りましたので、よろしくお支払いお願いいたします。46年度未納の方は、6月末日までに御連絡ないときは、退会として取扱います。

住所移転された方、退会される方は、どうかお早目に(できれば2ヶ月前に)お知らせください。未払いのまま移転して、雑誌はどこかへ行ってしまうということがよくあります。

**48年度会費** 2月号に赤い振替用紙をいれましたが、48年度会費(通常1,800円、特別5,000円)の納入をよろしくお願いいたします。48年12月31日までにお送りください。銀行送金をなさるときは、三菱銀行三鷹支店普通預金口座日本天文学会へお願いいたします。

**学会へくるべきでない送金について** 本会に入るべきでないお金は、日本天文学会宛に送らないでください。たとえば、月報に出ているいろいろな研究会集録は、本会とは関係のない出版で、それぞれ連絡先が書いてありますので、そこへ連絡または送金してください。そういうお金を、本会へ振替や銀行振込で送られると大変迷惑をいたします。

## 掲示板

### 研究会集録

1972年12月に大阪工業技術試験所において開催しました天体写真原板測定器研究会および1973年1月に千葉県鹿野山で開催しました第6回衛星測地シンポジウムの集録が出来ました。御希望の方は下記までお申込み下さい。頒布価格は前者が300円、後者が250円です(含送料)。

〒181 三鷹市大沢 2-21 東京天文台 富田弘一郎

☆

☆

☆